

「地域を支える建設業」検討会議

第39回全体会議

分科会資料

- ① 技術力の確保・向上 分科会資料No.1
- ② 維持管理・危機管理 分科会資料No.2
- ③ 施工・品質確保 分科会資料No.3

「地域を支える建設業」検討委員会

令和元年度 第2回 技術力の確保・向上分科会 報告（概要）

- 1 開催日時 : 令和2年2月17日(月) 10:30~12:00
- 2 開催場所 : 長建ビル 5階 会議室
- 3 議 事 :
 - (1) 建設現場の働き方改革について
 - ・ 週休2日工事のアンケート結果について
協会より「平成30年度に竣工した長野県発注週休2日建設工事について」のアンケート結果を説明
 - ・ 週休2日工事实施要領の改定について
県説明に対して、変更設計書で経費変更されているか、手続き方法含めて不明確との意見有り。元々の工期では4週何休になっているか確認を依頼。
 - ・ ICT活用工事の実施状況について
県より説明。3次元モデルについて意見交換。
 - (2) 建設業における就労促進の取組について
 - ・ 次世代を担う技術者の就労促進の取組等について
県説明に対して、各支部と建設系高校との意見交換会の状況を説明。
 - (3) その他
 - ・ 建設業に関わる経営者の意識調査について
県より昨年実施したアンケート結果の説明。

「地域を支える建設業」検討会議
第32回維持管理・危機管理分科会 報告(概要)

1 開催日時 : 令和2年3月10日(火) 10:30~12:00

2 開催場所 : 長建ビル 5階会議室

3 報告事項

(県) ・台風第19号災害復旧工事に係る落札候補者の辞退について

・令和元年度の降雪状況(R2.3.9現在)について(別添資料-1参照)

・令和2年度小規模維持補修工事の発注工区について

(協会) ・除融雪業務(R元.1~R2.2)に関する実態調査結果について(別添資料-2参照)

4 協議事項(協会からの要望事項等)

(1) 今季の小雪の影響を踏まえた要望について

県下全域の小雪の今後の対応策として、新潟県十日町市の取組み(除雪基本料金支払制度)等について紹介を行い、安定した除雪体制の確保を図るため、今まで以上の検討を要望した。県の回答は、持続可能な制度を研究したいとのことであり、今後の検討材料として、除雪を専従で行っている、会社数・人数等の情報提供の依頼があった。

(2) 大規模災害発生を踏まえた災害協定等の見直しについて

台風19号災害対応にあたっては、長野市穂保地区での対応をはじめ、様々な課題が明確になった。今後、今災害の検証を行うとともに、現行の災害協定等の見直しの提案を行った。

県の回答は、早期に検証を行い、今後の大規模災害発生に備え検討していきたいとのこと。

(3) 河川・砂防も含めた包括的維持補修工事の体制の検討について

台風19号による、河川の応急対応の検証を行う中で、河川・砂防も含めた包括的維持補修工事の検討を要望した。

県の回答は協会の意見を踏まえ、検討は必要と考えているとのこと。

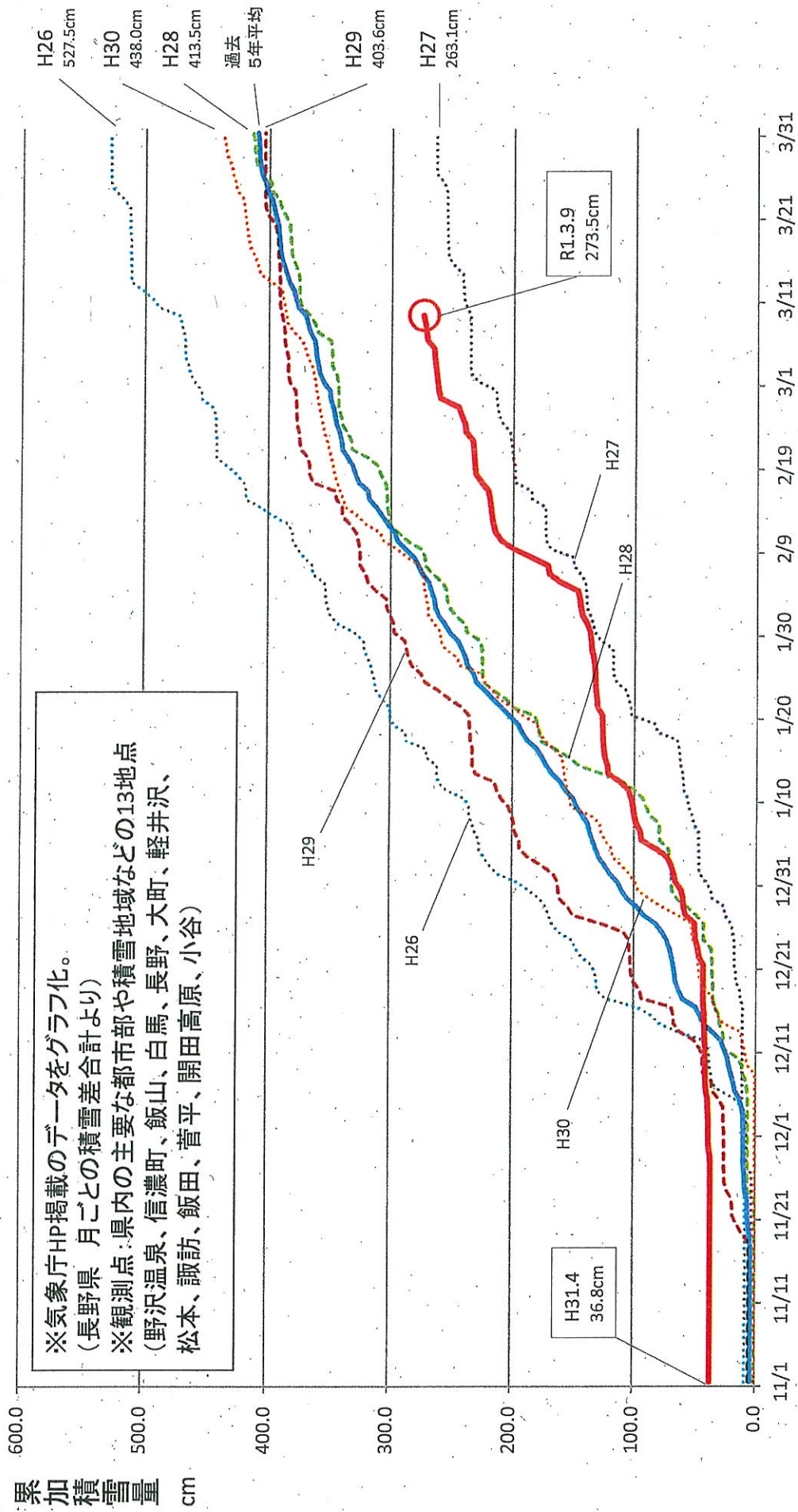
(4) 総合評価落札方式におけるICT活用工事の評価の方針及び検討状況について

令和2年度中の実施を考えていることに対して、県の検討状況について確認した。

県の回答は、ICT工事の推進に向けた取組は必要であり、令和2年度中の実施を考えているが、加点内容等については、当分会からの要望事項も踏まえて検討中とのこと。

令和元年度の降雪状況 (R2.3.9現在)

- H31.4に大雪警報が発令(県内での4月の大雪警報は98年以来)、中南部で大雪を記録。
- 今シーズンは「暖冬少雪」と言われ、12月下旬から降り始め、2月上旬にはある程度の降雪を記録。



(一社)長野県建設業協会

除融雪業務の実態調査結果について

除融雪業務に関する実態調査 回答用紙

支部名	
会社名 (記入者名)	()

- (1) 平成28年度から令和元年度にかけての12月と1月の出勤日数を記入願います。
出勤回数は平成28年～平成30年をできる限りご記入をお願いします。

① 12月

単位：日

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
除雪				
融雪剤散布				

② 1月

単位：日

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
除雪				
融雪剤散布				

- (2) 平成28年度から令和元年度にかけての12月と1月の売上について記入願います。

① 12月

単位：千円

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
除雪				
融雪剤散布				

② 1月

単位：千円

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
除雪				
融雪剤散布				

留意点

1. 売上には県で設定の待機補償費、機械管理費を除いて下さい。

(3) 今年度の小雪に対して、県への要望等ございましたらご記入願います。

--

除融雪業務に関する実態調査結果

(1) 除雪出動日数(12月～1月)

単位：日

支会会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 d=(a+b+c)/3	R1 e	増減量 f=e-d	増減率 g=f/d	備考
南佐久A	4	2	1	2	2	0	0%	
南佐久B	2	0	0	1	1	0	0%	
南佐久C	5	1	0	2	2	0	0%	
佐久A	9	7	6	7	5	-2	-29%	
佐久B	11	5	5	7	2	-5	-71%	
佐久C	56	25	22	34	14	-20	-59%	
上小A	19	13	15	16	8	-8	-50%	
上小B	9	8	7	8	6	-2	-25%	
上小C	3	1	1	2	0	-2	-100%	
諏訪A	3	3	1	2	2	0	0%	
諏訪B	4	4	6	5	3	-2	-40%	
伊那B	1	1	0	1	1	0	0%	
伊那D	1	3	0	1	1	0	0%	
飯田A	5	10	7	7	5	-2	-29%	
飯田B	1	8	2	4	1	-3	-75%	
飯田C	2	1	0	1	0	-1	-100%	
木曾A	7	8	5	7	1	-6	-85%	
木曾B	2	5	5	4	1	-3	-75%	
木曾C	17	29	17	21	10	-11	-52%	
松筑A	2	4	2	3	2	-1	-33%	
松筑B	25	27	17	23	9	-14	-61%	
松筑C	5	4	0	3	0	-3	-100%	
松筑D	6	2	3	4	1	-3	-75%	

支分会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 d=(a+b+c)/3	R1 e	増減量 f=e-d	増減率 g=f/d	備考
安曇野A	2	1	0	1	0	-1	-100%	
安曇野B	1	1	0	1	0	-1	-100%	
安曇野C	2	1	0	1	1	0	0%	
大北A	15	13	15	14	9	-5	-36%	
大北B	36	31	19	29	6	-23	-79%	
大北C	26	30	23	26	6	-20	-77%	
更埴A	4	3	8	5	0	-5	-100%	
更埴B	13	15	15	14	5	-9	-65%	
更埴C	3	0	1	1	0	-1	-100%	
須坂A	37	30	31	33	12	-21	-63%	
須坂B	12	31	4	16	13	-3	-19%	
須坂C	31	1	23	18	0	-18	-100%	
須坂D	27	18	16	20	2	-18	-90%	
長野A	12	22	29	21	22	1	5%	
長野B	20	18	21	20	4	-16	-80%	
長野C	10	12	11	11	2	-9	-82%	
中高B	21	15	19	18	2	-16	-89%	
飯山A	90	87	129	102	38	-64	-63%	
飯山B	47	49	52	49	14	-35	-72%	
飯山C	23	26	31	27	10	-17	-63%	
飯山D	—	154	134	144	37	-107	-74%	H28:4路線 H29~7路線

除融雪業務に関する実態調査結果

(2) 融雪剤散布出動日数(12月～1月)

単位：日

支分会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 d=(a+b+c)/3	R1 e	増減量 f=e-d	増減率 g=f/d	備考
南佐久A	35	26	31	31	16	-15	-48%	R1に1路線増は控除
南佐久B	14	14	20	16	6	-10	-63%	
南佐久C	64	62	57	61	31	-30	-49%	
佐久A	58	52	51	54	44	-10	-18%	
佐久B	91	106	94	97	69	-28	-29%	
佐久C	112	119	104	112	42	-70	-62%	
上小A	143	119	114	125	96	-29	-23%	
諏訪A	34	27	31	31	25	-6	-19%	
伊那A	4	7	6	6	4	-2	-33%	
伊那B	14	27	12	18	9	-9	-50%	
伊那D	31	35	20	29	23	-6	-20%	
飯田A	45	59	51	52	47	-5	-9%	
飯田B	13	25	13	17	10	-7	-41%	
木曾A	11	22	18	17	5	-12	-71%	
木曾B	37	59	42	46	39	-7	-15%	
木曾C	52	59	50	54	48	-6	-11%	

支部会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 $d=(a+b+c)/3$	R1 e	増減量 $f=e-d$	増減率 $g=f/d$	備考
松策A	12	19	18	16	12	-4	-25%	
松策B	47	40	36	41	38	-3	-7%	
松策C	35	51	40	42	27	-15	-36%	
松策D	10	8	6	8	3	-5	-63%	
安曇野A	12	12	7	10	3	-7	-70%	
大北A	56	62	50	56	54	-2	-4%	
大北C	51	58	48	52	44	-8	-16%	
須坂B	53	62	51	55	61	6	10%	
須坂C	61	57	54	57	56	-1	-2%	
須坂D	31	24	30	28	9	-19	-68%	
長野A	61	62	61	61	62	1	1%	
長野B	56	59	56	57	54	-3	-5%	

除融雪業務に関する実態調査結果

(3) 除雪費(12月~1月)

単位:千円

支部会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 d=(a+b+c)/3	R1 e	増減量 f=e-d	増減率 g=f/d	備考
南佐久A	370	110	100	193	120	-73	-38%	
南佐久B	180	0	0	60	30	-30	-50%	
南佐久C	470	130	0	200	130	-70	-35%	
佐久A	2,050	880	660	1,197	860	-337	-28%	
佐久B	3,400	1,110	1,150	1,887	870	-1,017	-54%	
佐久C	4,690	3,040	2,590	3,440	2,160	-1,280	-37%	
上小A	1,730	1,000	1,250	1,327	760	-567	-43%	
上小B	2,480	1,550	1,280	1,770	1,160	-610	-34%	
上小C	180	170	30	127	0	-127	-100%	
諏訪A	510	450	230	397	280	-117	-29%	
諏訪B	510	310	610	477	340	-137	-29%	
伊那B	670	100	0	257	120	-137	-53%	
伊那D	560	250	0	270	120	-150	-56%	
飯田A	590	770	490	617	380	-237	-38%	
飯田B	150	440	220	270	90	-180	-67%	
飯田C	350	230	0	193	0	-193	-100%	
木曾A	1,420	2,420	810	1,550	120	-1,430	-92%	
木曾B	800	1,090	420	770	50	-720	-94%	
木曾C	3,050	4,550	2,970	3,523	2,000	-1,523	-43%	
松筑A	270	150	80	167	120	-47	-28%	
松筑B	7,220	5,790	3,210	5,407	1,470	-3,937	-73%	

支分会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 d=(a+b+c)/3	R1 e	増減量 f=e-d	増減率 g=f/d	備考
松筑C	790	270	0	353	0	-353	-100%	
松筑D	510	70	150	243	150	-93	-38%	
安曇野A	150	130	0	93	0	-93	-100%	
安曇野B	240	510	0	250	0	-250	-100%	
安曇野C	180	90	0	90	50	-40	-44%	
大北A	7,800	5,043	6,990	6,611	1,940	-4,671	-71%	
大北B	24,400	25,570	24,060	24,677	3,080	-21,597	-88%	
大北C	7,270	7,040	7,350	7,220	1,120	-6,100	-84%	
更埴A	250	400	250	300	0	-300	-100%	
更埴B	2,210	2,340	2,800	2,450	710	-1,740	-71%	
更埴C	490	0	200	230	0	-230	-100%	
須坂A	11,210	8,700	3,980	7,963	3,400	-4,563	-57%	
須坂B	3,720	7,460	340	3,840	3,490	-350	-9%	
須坂C	8,090	200	5,790	4,693	0	-4,693	-100%	
須坂D	8,430	5,040	4,810	6,093	500	-5,593	-92%	
長野A	40,440	34,010	55,020	43,157	14,520	-28,637	-66%	
長野B	25,530	22,380	26,800	24,903	3,830	-21,073	-85%	
長野C	6,940	6,790	7,500	7,077	1,100	-5,977	-84%	
中高B	20,900	6,483	10,422	12,602	460	-12,142	-96%	
飯山A	16,060	16,260	23,720	18,680	5,440	-13,240	-71%	
飯山B	8,462	8,295	8,413	8,390	1,520	-6,870	-82%	
飯山C	34,980	44,680	48,220	42,627	8,900	-33,727	-79%	
飯山D	—	21,360	23,160	22,260	4,200	-18,060	-81%	H28:4路線 H29~7路線

除融雪業務に関する実態調査結果

(4) 融雪剤散布費(12月~1月)

単位:千円

支分会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 d=(a+b+c)/3	R1 e	増減量 f=e-d	増減率 g=f/d	備考
南佐久A	910	530	710	717	520	-197	-27%	
南佐久B	320	290	330	313	210	-103	-33%	
南佐久C	1,840	1,570	1,840	1,750	890	-860	-49%	
佐久A	3,670	2,630	2,360	2,887	2,590	-297	-10%	
佐久B	3,670	3,680	4,060	3,803	3,870	67	2%	
佐久C	4,440	4,500	4,180	4,373	5,440	1,067	24%	
上小A	4,290	3,980	3,920	4,063	3,370	-693	-17%	
諏訪A	1,440	1,510	1,300	1,417	1,290	-127	-9%	
伊那A	550	710	850	703	720	17	2%	
伊那B	1,820	5,600	1,740	3,053	1,290	-1,763	-58%	
伊那D	2,680	3,300	2,010	2,663	1,960	-703	-26%	
飯田A	320	4,070	3,800	2,730	3,480	750	27%	
飯田B	530	1,490	550	857	470	-387	-45%	
木曾A	620	970	780	790	210	-580	-73%	
木曾B	5,100	7,980	5,470	6,183	4,620	-1,563	-25%	
木曾C	2,090	2,560	2,090	2,247	2,060	-187	-8%	

支分会社	H28 a	H29 b	H30 c	過去の平均 d=(a+b+c)/3	R1 e	増減量 f=e-d	増減率 g=f/d	備考
松筑A	400	550	480	477	360	-117	-24%	
松筑B	3,470	1,740	1,610	2,273	1,640	-633	-28%	
松筑C	1,520	1,130	1,110	1,253	850	-403	-32%	
松筑D	240	190	220	217	70	-147	-68%	
安曇野A	150	138	0	96	0	-96	-100%	
大北A	3,450	3,860	2,540	3,283	2,830	-453	-14%	
大北C	2,150	2,630	2,370	2,383	2,380	-3	0%	
須坂B	6,770	3,680	6,740	5,730	3,130	-2,600	-45%	
須坂C	5,140	8,940	4,950	6,343	5,650	-693	-11%	
須坂D	3,300	2,520	3,080	2,967	1,100	-1,867	-63%	
長野A	22,530	18,910	38,110	26,517	32,532	6,015	23%	
長野B	6,610	8,260	8,820	7,897	9,700	1,803	23%	

令和元年度 除融雪業務に関する実態調査結果

除雪費増減内訳(令和元年12月～令和2年1月)

増減金額(単位:万円)	増減率(単位:%)	会社数	地域(支部)内訳	備考
-0 ~ -20		14	東信4, 南信6, 中信4	
-20 ~ -50		7	東信, 南信, 中信2, 北信3	
-50 ~ -100	バラツキが大きく省略	3	上小2, 木曾	
-100 ~ -200		5	佐久2, 木曾2, 更埴	
-200 ~ -500		4	松筑, 大北, 須坂2,	
-500 ~ -1,000	-82 ~ -92	4	大北, 須坂, 長野, 飯山	
-1,000 ~ -1,500	-96, -71	2	中高, 飯山	
-1,500 ~ -2,000	-81	1	飯山	
-2,000 ~ -2,500	-88, -85	2	大北, 長野	
-2,500 ~ -3,000	-66	1	長野	
-3,000 ~ -3,500	-79	1	飯山	
計		44		

融雪剂散布費増減内訳

増減金額(単位:万円)	増減率(単位:%)	会社数	地域(支部)内訳	備考
200 ~	+23	1	長野	
100 ~ 200	+24, +23	2	佐久, 長野	
50 ~ 100	+27	1	飯田	
20 ~ 50		0		
0 ~ 20	+2	2	佐久, 伊那	
-0 ~ -20	バラツキが大きく省略	8	東信2 南信1, 中信5	
-20 ~ -50	-10 ~ -45	4	佐久, 飯田, 松筑, 大北	
-50 ~ -100	-11 ~ -73	6	南佐久, 上小, 伊那, 木曾, 松筑, 須坂	
-100 ~ -200	-58, -25, -63	3	伊那, 木曾, 須坂	
-200 ~	-45	1	須坂	
計		28		

「地域を支える建設業」検討会議

令和元年度 第3回 施工・品質確保分科会 報告（概要）

- 1 開催日時 : 令和2年2月28日（金） 10:30～12:00
- 2 開催場所 : 長建ビル 5階 会議室
- 3 議 事
 - (1) 工事しゅん工書類の標準化及び簡素化について
 - ・書類の簡素化について
令和元年度実施した書類の簡素化2点について説明。また協会員からの簡素化提案事項（11項目）について対応案を説明。
 - ・書類の標準化
標準化する事が簡素化に繋がるか技士会と意見交換を行いたいと説明。
 - (2) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更及び労働者確保に要する間接費の実績変更の運用について
※本議題については先ほど県からの報告事項で説明された通りの説明有。
 - (3) 建設工事に使用する積みブロックの取扱いについて
県内生産品の積ブロックの不足に伴う大型積ブロック等の同等品について、JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品を使用できる事を説明。
 - (4) 令和2年度 ICT 活用工事ほかについて
 - (5) 佐久地域災害復旧支援（CMR）について
※以上2議題については先ほど県からの報告事項で説明された通りの説明有。